

手話を覚えよう

普段の動作の中にも手話があります

普段の生活の中で何気なく行っている動作の中にも、手話として使われている形があります。

例えば、相手のことを指差す動作や、「OK」ということを表現するとき人に差し指と親指で丸をつくる動作なども、手話として使われています。

●わたし



自分のことを指差す様子

●あなた



相手のことを指差す様子

手話は基本的に
右手で行います。

●食べる



お箸を使って食べ物を食べる様子



●OK



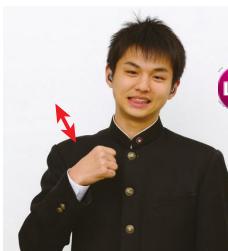
●ダメ



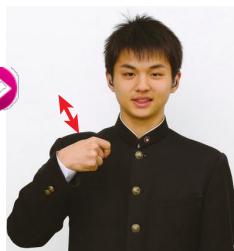
角度を
変えて
みたとき

こちらでも意味は同じ

●暑い



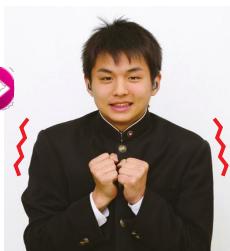
うちわでパタパタとあおぐ様子



●寒い



寒くて震える様子



●飲む



カップで飲み物を飲む様子

このように自然に出る動作も
手話のひとつです。



手話のしくみを知ろう

手話は、手の形だけでなく、手の位置、動きの方向や動きの大きさ、顔の表情で意味を表します。手話は日本語と同じ語順の場合もあれば、独自の語順や文法もあります。

日本語と手話の語順の違い

例) 好きな/食べ物/は/何ですか?

手話の場合

● 食べる



右手の人差し指と中指を伸ばして
口元へ向かって動かす。

● 好き



右手の親指と人差し指を開いてあごの
下に当て、前に出しながら指を閉じる。

● 何?



右手の人差し指を
立てて指を左右に
軽く振る。

手話単語の成り立ち例

形から

● 山



右手の手のひらを下に向け、左から右へ
山の形をつくるように動かす。

動作の方向や位置から

● 昨日



右手の手の甲を前に向け、
人差し指を立てて顔の横
で肩越しに後ろへ振る。

● 明日



右手の手のひらを前に向け、
人差し指を立てて顔の横
で肩越しに前へ振る。

手話では身体の前方が
後方が過去を表します。

● 家



左右から斜めに立てた両手の指先を
合わせる。屋根の形を表している。

人の動きから

● 驚く



左手の手のひらに、右手の人差し指と中指をのせ、はね
上げる。人が驚いて飛び上がる様子を表している。

あいさつ

はじめまして

●初めて



●会う



左手の甲のあたりで、右手の手のひらを下に向かた状態から、はね上げると同時に人差し指を伸ばす（他の指は握る）。

向かい合わせにした人差し指を両脇から近づける。

よろしくおねがいします

●良い



●お願ひ



右手の握りこぶしを鼻の前で構え、まっすぐ前に突き出す。

右手を顔の前に立て、そのまま前に倒す。同時に頭も下げる。



お名前は何ですか？

●名前



右手の人差し指と親指で輪をつくり、左胸に当てる。

●何



右手の人差し指を立てて指を左右に軽く振る。

おはよう

●朝



●あいさつ



両手の人差し指を向かい合わせて、同時に曲げる。指を人に見立て、お辞儀をする様子を表している。

こんにちは

●昼



右手の人差し指と中指を顔の中央に立てて。顔が時計の文字盤、指が時計の針で、時計が正午を指している様子を表している。

●あいさつ



両手の人差し指を向かい合わせて、同時に曲げる。指を人に見立て、お辞儀をする様子を表している。

こんばんは

● 夜



両手の手のひらを前に向け、体の前で交差させる。
日が落ちる様子を表している。



● あいさつ



両手の人差し指を向かい合わせて、
同時に曲げる。指を人に見立て、お
辞儀をする様子を表している。

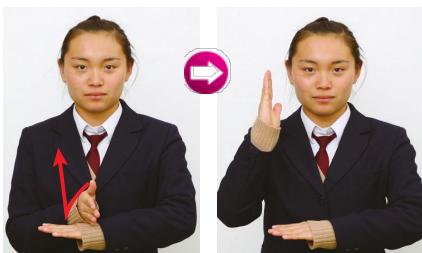
● おつかれさま



右手の握りこぶしで左の手
首の甲を2回たたく。

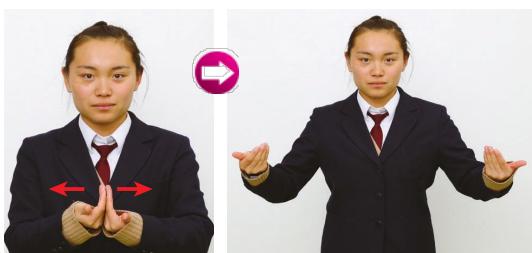


● ありがとう



右手の手のひらを立てて左手の甲
を1回叩く。同時に頭を下げる。

● 久しぶり



両手の親指以外の4本の指の背を合
わせ、左右にゆっくり離していく。

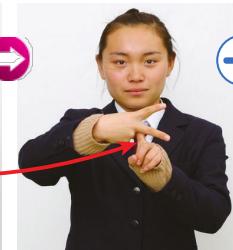
●さようなら



右手の手のひらを前に向け
て、左右に軽く振る。

また会いましょう

●また



●会う

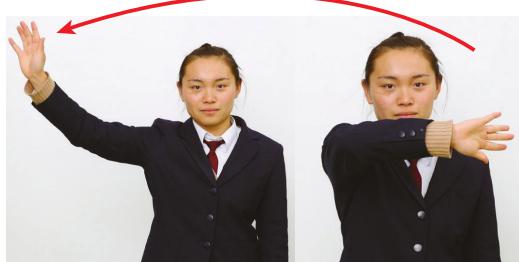


人差し指と中指を伸ばした右手を左へ振り下ろしながら、立てた左手の人差し指にかぶせるようにする。

向かい合わせにした人差し指を両脇から近づける。

いい天気ですね

●天気



右手の手のひらで上方に弧を描く。「空」の意味もある。

●よい



右手の握りこぶしを鼻の前で構え、まっすぐ前に突き出す。